

# メッセージ一覧

SCPI コマンド：省略表記（short form）のコマンド名

\*RST：\*RST によって影響を受けるコマンドには○

R/W：クエリコマンド（R）／設定コマンド（W）

注：SCPI 標準コマンドは 1、審議中は 2、KIKUSUI オリジナルは 3

## FETCh | MEASure subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
FETC[:SCAL]   MEAS[:SCAL]									
	:VOLT		V		NR3		電圧出力測定値の問い合わせ	R	1
	:CURR		A		NR3		電流出力測定値の問い合わせ	R	1

## MEMory subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
MEM									
	:KLOCK	bool		ON	NR1		ロック中のプリセットメモリ呼び出しを設定	R/W	3
	:RCL	numeric	1 ~ 3				プリセットメモリの呼び出し	W	3
	:SAV	numeric	1 ~ 3				プリセットメモリに保存	W	3

## OUTPut subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
OUTP									
	[:STAT]	bool		OFF	NR1	○	出力のオン/オフ設定	R/W	1
	[:STAT]:TRIG	bool		OFF	NR1	○	トリガで出力をオンするかオフするかの設定	R/W	3
	:EXT	char	NORM   INV	NORM	char	○	外部制御による出力オン/オフの論理設定	R/W	3
	:PROT:CLE						アラームの解除	W	1
	:PON:STAT	char	RST   AUTO	RST	char	○	電源オン時の出力状態	W	3

## SENSe subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
	SENS:AVER:CLE						測定データのクリア	W	3

## SOURCE subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
[SOUR]									
:VOLT									
[:LEV][:IMM][:AMPL]	numeric	定格出力電圧の 0 % ~ 105 %	V	0	NR3	○	電圧値の設定	R/W	1
:EXT:SOUR	char	NONE   VOLT   RES   IRES   FVOL*1		NONE	char	○	定電圧のコントロール 方法設定	R/W	3
:FINE*2	NRf	-10000 ~ 10000		0		○	電圧設定時のファイン 機能設定	W	3
:LIM									
[:AMPL]			V		NR3	○	電圧設定制限の問い合 わせ	R	3
:AUTO	bool			OFF	NR1	○	電圧設定制限を行うか どうか	R/W	3
:PROT									
[:LEV]	numeric	定格出力電圧の 10 % ~ 111.5 %	V	定格出力 電圧の 111.5 %	NR3	○	OVP の設定	R/W	1
:TRIG	numeric	定格出力電圧の 0 % ~ 105 %	V	0	NR3	○	トリガで変更する電圧	R/W	1
:CURR									
[:LEV][:IMM][:AMPL]	numeric	定格出力電流の 0 % ~ 105 %	A	定格出力 電流の 105 %	NR3	○	電流値の設定	R/W	1
:EXT:SOUR	char	NONE   VOLT   RES   IRES   FVOL*1		NONE	char	○	定電流のコントロール 方法設定	R/W	3
:FINE*2	NRf	-10000 ~ 10000		0		○	電流設定時のファイン 機能設定	W	3
:LIM									
[:AMPL]			A		NR3		電流設定制限値の問い 合わせ	R	3
:AUTO	bool			OFF	NR1	○	電流設定制限を行うか どうか	R/W	3
:PROT									
[:LEV]	numeric	定格出力電流の 10 % ~ 111.5 %	A	定格出力 電流の 111.5 %	NR3	○	OCP の設定	R/W	1
:TRIG	numeric	定格出力電流の 0 % ~ 105 %	A	定格出力 電流の 105 %	NR3	○	トリガで変更する電流	R/W	1

\*1. FVOL は、8 kW タイプでのみ設定可能

\*2. 8 kW タイプでのみ使用可能

## STATus subsystem

SCPI コマンド		設定値	レスポンス	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ					
STAT						
:OPER						
	[:EVEN]		NR1	イベント <sup>*1</sup>	R	1
	:COND		NR1	レジスタの状態 <sup>*1</sup>	R	1
	:ENAB	NRf	0 ~ 32767	イネーブル <sup>*1</sup>	R/W	1
	:PTR	NRf	0 ~ 32767	ポジティブトランジション <sup>*1</sup>	R/W	1
	:NTR	NRf	0 ~ 32767	ネガティブトランジション <sup>*1</sup>	R/W	1
	:PRES			イネーブルレジスタの初期設定	W	1
:QUES						
	[:EVEN]		NR1	イベント <sup>*2</sup>	R	1
	:COND		NR1	レジスタの状態 <sup>*2</sup>	R	1
	:ENAB	NRf	0 ~ 32767	イネーブル <sup>*2</sup>	R/W	1
	:PTR	NRf	0 ~ 32767	ポジティブトランジション <sup>*2</sup>	R/W	1
	:NTR	NRf	0 ~ 32767	ネガティブトランジション <sup>*2</sup>	R/W	1

\*1. OPERation ステータスレジスタ

\*2. QUEStionable ステータスレジスタ

## SYSTem subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
SYST									
:CONF									
:BTR									
	[:IMM]						ブレーカのトリップ	W	3
	:PROT	bool		OFF	NR1	○	OCP/OVP 作動時にブレーカトリップのオン/オフ	R/W	3
	:SHUT	bool		OFF	NR1	○	SD 信号入力時にブレーカトリップのオン/オフ	R/W	3
	:PAR	NRf	1 ~ 5 <sup>*1</sup>	1	NR1		並列運転時の台数設定	R/W	3
	:PST	char	NORM   INV	NORM	char		電源オン/オフのステータス信号設定	R/W	3
	:RSEN				NR1		センシング切替スイッチの状態の問い合わせ	R	3
	:MSL	char	MAST   PAR	MAST	char		並列運転時の状態設定	R/W	3
	:MPR <sup>*2</sup>	char	CV   CC	CV	char		出力オン時の立ち上がり状態	R/W	3
	:SPH <sup>*3</sup>	bool		OFF	NR1		単相入力/三相入力の設定	R/W	3
	:TRAC	bool		OFF	NR1		通信エラー表示/非表示の設定	R/W	3
	:ERR[:NEXT]				string		エラー情報読みとり	R	3
	:KLOC	bool			NR1		パネル操作のロック	R/W	1
	:LOC						ローカルに設定	W	1
	:OPT				char		オプションインターフェースボードの問い合わせ	R	3
	:REM						操作をリモートに設定。LOCAL スイッチ以外のパネル操作のロック	W	3
	:RWL						操作をリモートに設定。パネル操作のロック	W	3
	:VERS						準拠する SCPI 仕様書バージョンの問い合わせ	R	1

\*1. PAT850-9.4T は 1、2

\*2. 8 kW タイプでのみ使用可能

\*3. 4 kW タイプでのみ使用可能



## TRIGger subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	注
プログラムヘッダ	パラメータ		単位						
ABOR							すべてのシーケンスの動作中止	W	1
INIT									
[:IMM]									
:NAME	char	TRAN   OUTP   ACQ					シーケンス 1、2、3: トリガ機能開始	W	1
[:SEQ1]							シーケンス 1: 電圧 / 電流設定トリガ機能開始	W	1
:SEQ2							シーケンス 2: 出力オン / オフディレイトリガ機能開始	W	1
:SEQ3							シーケンス 3: 測定トリガ機能開始	W	1
:CONT									
:NAME	char	ACQ		OFF	NR1	○	シーケンス 3: 動作自動継続モードの設定	R/W	1
:SEQ3	bool			OFF	NR1	○			
TRIG[:SEQ[1]]   TRIG[:TRAN]									
[:IMM]							シーケンス 1: ソフトウェアトリガ	W	1
:SOUR	char	IMM   BUS		BUS	char	○	シーケンス 1: トリガソース	R/W	1
TRIG:SEQ2   TRIG:OUTP									
[:IMM]							シーケンス 2: ソフトウェアトリガ	W	1
:DEL									
:OFF	numeric	0.0 ~ 10.0	S	0.0	NR3	○	シーケンス 2: 出力オフ遅延時間の設定	R/W	1
:ON	numeric	0.0 ~ 10.0	S	0.0	NR3	○	シーケンス 2: 出力オン遅延時間の設定	R/W	3
:SOUR	char	IMM   BUS		BUS	char	○	シーケンス 2: トリガソース	R/W	3
TRIG:SEQ3   TRIG:ACQ									
[:IMM]							シーケンス 3: ソフトウェアトリガ	W	1
:SOUR	char	IMM   BUS		IMM	char	○	シーケンス 3: トリガソース	R/W	1

## IEEE488.2 共通コマンド

IEEE488.2 共通コマンド	パラメータ	説明	R/W
*CLS		すべてのイベントレジスタをクリアします。	W
*ESE	NR1	イベントステータスイネーブルレジスタビットを設定します。	R/W
*ESR		イベントステータスレジスタを問い合わせます。	R
*IDN		識別ストリングを問い合わせます（製造業者の情報）。	R
*OPC		待機中が検出された装置のすべての動作が終了すると、装置は操作完了メッセージをイベントステータスレジスタに生成します。	R/W
*OPT		装着されているオプションインターフェースボードを問い合わせます	R
*PSC	0   1	*ESE と *SRE を初期化します。	R/W
*RST		装置のリセットを実行します。装置の使用履歴から独立した既知の状態に設定します。	W
*SRE	NR1	サービスリクエストイネーブルレジスタビットを設定します。	R/W
*STB		ステータスバイトとマスタサマリステータスビットを読み取ります。	R
*TRG		トリガコマンド	W
*TST		自己診断の実行	R
*WAI		待機中の動作なしフラグが「真」になるまで、装置が以降のコマンドやクエリを実行しないようにします。	W